

## USB - IDE SATA独立型ハードドライブ デュプリケータ用ドッキングステーション

UNIDUPDOCK



\*実際の製品は写真と異なる場合があります。

FR: Guide de l' utilisateur - [fr.startech.com](http://fr.startech.com)

DE: Bedienungsanleitung - [de.startech.com](http://de.startech.com)

ES: Guía del usuario - [es.startech.com](http://es.startech.com)

NL: Gebruiksaanwijzing - [nl.startech.com](http://nl.startech.com)

PT: Guia do usuário - [pt.startech.com](http://pt.startech.com)

IT: Guida per l' uso - [it.startech.com](http://it.startech.com)

本製品の最新情報、技術仕様、サポートについては、  
[www.StarTech.com/UNIDUPDOCK](http://www.StarTech.com/UNIDUPDOCK)をご覧ください。

## FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

## 商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用することがありますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

# 目次

<b>はじめに</b> .....	<b>1</b>
パッケージの内容 .....	1
動作環境および使用条件 .....	1
製品図 .....	2
設定ボタン .....	2
<b>インストール手順</b> .....	<b>3</b>
ハードウェアのインストール手順 .....	3
ドライバのインストール手順 .....	4
<b>ドッキングステーションを使用する</b> .....	<b>5</b>
メニューオプション .....	5
詳細設定メニュー オプション .....	6
デュプリケータ(コピー)モード .....	7
RAIDモード .....	7
<b>技術サポート</b> .....	<b>9</b>
<b>保証に関する情報</b> .....	<b>9</b>

# はじめに

StarTech.comのUNIDUPDOCKは、便利なハードドライブのコピー/イメージングソリューションとして、また、2.5インチ (最大500Gb) または3.5インチ (最大2TB) ハードドライブ用の外付けUSB-SATA/IDE HDDドッキングステーションとして機能します。

## パッケージの内容

- 1 x ユニバーサルHDDデュプリケータ
- 1 x USB 2.0A - Bケーブル
- 2 x IDE 40 - 40 ピン ケーブル
- 2 x LP4 - LP4ケーブル
- 2 x 40 - 44 ピン ケーブル
- 1 x ユニバーサル電源アダプタ (NA/JP、EU、UK、ANZ規格対応)
- 1 x ユーザマニュアル

## 動作環境および使用条件

- 2.5インチおよび/または3.5インチSATAおよび/またはIDEハードドライブ

## 製品図



## 設定ボタン

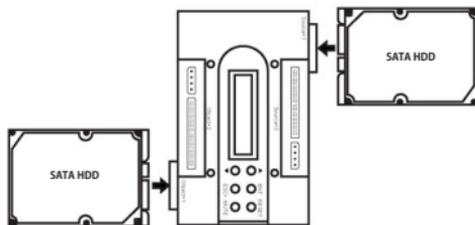
ボタン	機能
▲	上に移動
▼	下に移動
ENT	Enter
Esc	キャンセル
RESET	デュプリケータドッキングステーションをリセット(ソフト)
MUTE	ブザー音の消音

# 取付手順

**警告!**ハードドライブは、輸送中は特に、取り扱いには慎重に行ってください。ハードドライブを慎重に取り扱わない場合、データが損失する可能性があります。ハードドライブやストレージ デバイスは、必ず注意して取り扱ってください。

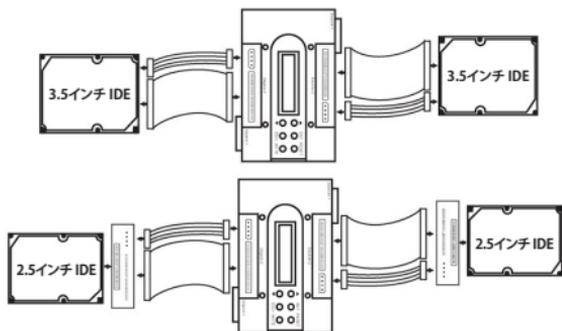
## ハードウェアのインストール手順

1. ユニバーサル電源アダプタを壁のコンセントに挿し込み、デュプリケータ ドッキングステーションのDC入力コネクタに接続します。
2. SATAハードドライブをソース ディスクとして使用する場合は、ハードドライブをデュプリケータ ドッキングステーションのソース-1の記載がある7+15SATAコネクタにゆっくりとスライドさせながら挿入します。ステップ6に進みます。
3. IDEハードドライブをソース ディスクとして使用する場合は、IDEリボン ケーブル (付属品) をソース-2と記載のある40ピン コネクタに接続します。正しい方向で挿し込めるように、コネクタには突起があります。



4. LP4 molexケーブル (付属品) を40ピンIDEコネクタの横にある4ピン コネクタに接続します。正しい方向で挿し込めるように、コネクタには突起があります。
5. IDEハードドライブのジャンパーの設定は「マスター」または「ケーブル選択」に設定しなければなりません。IDEハードドライブの設定について不明な点がある場合は、ハードドライブの製造元に連絡してください。
6. IDEハードドライブをリボン ケーブルとLP4molexコネクタに接続します。2.5インチ IDEハードドライブを接続する場合は、リボン ケーブルとLP4ケーブルの端に40-44ピン アダプタを取り付けてから、ハードドライブをアダプタに接続します。

**注記:**ソース ディスクとコピー先ディスクは1つずつインストールしてください。SATA またはIDEハードドライブの両方ではなく、いずれかを接続してください。



7. デュプリケーター ドッキングステーションのコピー先サイドでSATAまたはIDEハードドライブのいずれかで同じ手順を繰り返します。

**注記:**SATAおよびIDEハードドライブは同時に使用可能です。片側がSATAで、もう一方がIDEハードドライブという設定も可能です。

8. ユニットの横にある電源スイッチを「ON」の位置に切り替えてユニットの電源を入れます。
9. ユニットに電源が入ったら、設定ボタンとビルドインLCDディスプレイを使用して、デュプリケーター ドッキングステーションを設定して使用します。
10. 外付けのハードドライブ ドッキングステーションを使用する場合は、デュプリケーター ドッキングステーションのUSBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続します。

## ドライバをインストールする

このハードドライブ ドッキングステーションはネイティブサポートされているため、ドライバはすでにインストールされています。

# ドッキングステーションを使用する

## メニューオプション

### ハードドライブをコピーする

- ・ ソース ディスクからコピー先ディスクに1:1セクタ クローニングを実行します。データの有無にかかわらず、ソース ディスクの各ディスク セクタがコピーされます。ソース ディスクよりサイズの大きなコピー先ディスクを使用する場合は、余分な領域には一切タッチせずに割り当てないままにします。

### ハードドライブの比較

- ・ ソース ディスクとコピー先ディスクのセクタを比較します。コピーを正しく実行するために使用します。

### プレスキャン

- ・ ソース ディスクをスキャンして不良セクタやブロックを検索してエラーを報告します。

### バスの再スキャン

- ・ デュプリケータ ドッキングステーションのハードドライブ コネクタを再スキャンして、新規またはスワップしたドライブを検出します。

### ソースのサイズ

- ・ ソース ディスクのストレージ総容量を表示します。

## 設定

- ・ システム情報と設定。

- ・ **DMAモード**

DMAモードを切り替えてドライブ間のより良い互換性を確立します。最大データ転送速度に影響をおよぼします。

- ・ **コピーサイズ**

コピーするソースドライブのパーセンテージを示します。

- ・ **スタートアップメニュー**

スタートアップでメインメニューで選択されるべき最初のアイテムを設定します。

- ・ **自動比較**

HDDの比較機能をコピー後に自動的に実行します。デフォルトではオフになっています。

- ・ **検出機能付きコピー**

コピーを開始する前に自動的にバスを再スキャンします。デフォルトではオフになっています。

- ・ **ボタン音**

オーディオ フィードバック (発信音) をオンまたはオフにします。

- ・ **デバイス情報**

ソース/コピー先ディスクのディスク情報をリスト化して表示します。

- ・ **システム情報**

ファームウェアのバージョンなど、デュプリケータの情報をリスト化して表示します。

## USB RAIDモード

- ・ USBケーブルでコンピュータに接続すると、接続しているドライブのRAIDモードを設定します。USBとデュプリケータのモードを切り替えます。

## 詳細設定メニュー オプション

詳細設定メニューには、メインメニューで、「ESC」ボタンを5~6秒長押ししてアクセスします。

### バスの再スキャンの遅延

- ・ 「バスの再スキャン」をメインメニューから開始する前に、遅延間隔を設定します。

### 読み取りエラー スキップ

- ・ コピー中に検出された読み取りエラー (セクタまたはブロック) を無視します。通常は、読み取りエラーが発生すると、コピー手続きがキャンセルされます。デフォルトではオフになっています。

### HDDのクイック消去

- ・ ユニットのコピー先ポートに接続されているハードドライブのすべてのデータを素早く消去します。

## H/W診断

- ・ スイートの自動診断テストを実行して結果を表示します。

## デフォルトの読み込み

- ・ すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

## リンクオプション

- ・ メインメニューで「USB RAIDモード」オプションが表示されるようにするか、またはメインメニューで「USB RAIDモード」オプションが表示されないようにします。

## USB自動リンク

- ・ USBモードをスタートアップ時に自動的に入力します。デフォルトではオフになっています。

## HPA (ホスト保護領域) をコピーする

- ・ ソースドライブのHPAを重複中にコピーします。デフォルトではオフになっています。

## デュプリケータ(コピー)モード

デュプリケータ ドッキングステーションの<上方向>および<下方向>の矢印を使用して、HDDのコピー モードを選択して、「ENT」ボタンを押して有効にします。LCDディスプレイは、転送レート、進行状況率、コピー済みデータ量、カウントダウン タイマーを表示します。

**注記:**デュプリケータ ドッキングステーションで1:1コピーを行う際は、コピー先ドライブにはソース ドライブ以上の容量がなければなりません。

## RAIDモード

<上方向>および<下方向>の矢印を使用して、設定モードを選択して「ENT」ボタンを押します。「RAIDモードを変更する」オプションを選択してENTを押します。

**注記:**RAIDモードを変更すると、データを損失してしまう場合があります。重要なデータは、RAIDモードを変更する前にバックアップを取るようにしてください。

## RAIDモード

モード	機能
通常	2つの独立したディスク
RAID0	ドライブを最大データ転送速度でストライプ処理します。合わせた容量は小さいドライブの2倍の容量になります。冗長性/バックアップなし
RAID1	単一ドライブをミラーリングして2つの同じコピーを作成します。
JBOD	2つのドライブを連結して1つの大きなディスクを作成します。

## RAID1 リビルド

RAID1モードでは、1つのハードドライブで障害が発生したり、取り外されると、デュプリケータ ドッキングステーションは失敗状態に陥り、ブザー音が1秒に1回鳴ります。

<上方向>および<下方向>の矢印を使用して、ドライブ1(ソース)またはドライブ2(コピー先)のいずれかの情報を表示します。

ハードドライブを適切なコピー先側のソースに再接続すると、デュプリケータ ドッキングステーションは自動的にリビルドを促します。

転送速度、完了率、完了までのカウントダウン タイマーを含めたリビルドの進行状況が表示されます。

# 技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、[www.startech.com/support](http://www.startech.com/support) までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンラインツール、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は [www.startech.com/downloads](http://www.startech.com/downloads) でご確認ください

## 保証に関する情報

本製品には1年間の保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

### 責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は [www.startech.com](http://www.startech.com) までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利なツールをお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、英国、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。